

かけはし



福島市立平田小学校 学校だより No.18

自分で考え 力を合わせ
夢に向かって 最後まで

あけましておめでとうございます！ ～2022年 新たな飛躍の年に～

皆さま、あけましておめでとうございます。

1月11日（火）全校児童42名全員の出席のもと始業式を実施し、2022年をスタートさせることができました。これもひとえに冬季休業中に子どもたちの健康管理と事故防止にご留意いただいた保護者の皆さまのおかげと感謝申し上げます。

3学期は授業日数が49日と短いですが、1年間のまとめと進級・進学に向けて準備を進めるとても大切な学期になります。1日1日を大切に過ごすことにより、児童一人ひとりが大きく成長し、飛躍する学期にしていきたいと思っております。一方、昨年後半は落ち着きを見せていた新型コロナウイルス感染症ですが、新たな株の出現もあり、年末年始を経て感染が急激に拡大しています。今学期も引き続き感染対策に万全を期してまいりたいと思っておりますので、保護者の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



今年は「壬寅」



今年は寅年ですが、本来の干支（えと）でいうと壬寅（みずのえとら）。干支とは本来「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を略した呼び名で、「十干（じっかん）」と十二支を組み合わせたものです。十干とは甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸の総称で、もとは1～10を数えるための言葉です。去年は十二支でいうと「丑年」でしたが、十干でいうと第8位を表す「辛」の年。干支はこれらを組み合わせた「辛牛（かのとうし）」でした。

今年は十二支でいうと「寅年」、十干では「壬」となり干支は「壬寅（みずのえとら）」となるのです。十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば「壬」は第9位のほか、女性のおなかに子どもを宿す「妊」の一部であることから「新たな命を宿す」「誕生」という意味を持つそうです。そして「寅」はもともと「演」が由来であるといわれ「人前に立つ」、また演と同じ読み方の「延」から「延ばす・成長する」という意味を持つとされています。この2つの組み合わせである壬寅は「新しく立ち上がる」や「生まれたものが順調に成長する」といった意味があるものと思われます。また、壬寅は乳虎、母虎にも例えられるなど「優しくも力強いトラ」という特徴があるそうです。

過去の寅年には男女雇用機会均等法の施行、「ドラゴンクエスト」発売(1986)、日本男子サッカーチームのワールドカップフランス大会初出場(1998)、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還(2010)などがあり、新しい発想の製品やサービスが生まれ、初めての出来事も数多く起こっています。今年こそ一昨年前から続く新型コロナウイルス感染症拡大が終息し、新たな生活様式のもと子どもたちが「優しい」社会、環境の中でのびのびと生活し、すくすくと成長できる1年になることを祈念します。

【お知らせ】 1月19日(水)に本校体育館で予定していたカレッジオペラ公演はコロナ感染症拡大防止のため、中止となりました。ご了承願います。